

**修士・博士前期課程**  
**学位取得までの流れ（標準2年在籍のモデル）**

学位授与フロー		研究科別イベント (論文発表)	研究指導内容
1 年次	4月上旬	ガイダンス・履修相談	<p>指導希望教員の研究科目・演習Ⅰを含め、1年次に20単位以上を修得させるように指導を行なう。</p> <p>全員出席とする。</p> <p>指導教員は学生と協議の上「研究計画・指導計画書」を作成し、これに基づき論文作成指導を行う。</p>
	7月中旬	大学院研修会	
	9月下旬	演習Ⅰ履修	
		指導教員の決定	
		研究計画書提出	
2 年次	4月上旬	演習Ⅱ履修	<p>指導教員の演習Ⅱを含め、1・2年次に合計で30単位以上を履修させる。必要に応じて随時「研究計画・指導計画書」の見直しを行う。</p> <p>指導教員は指導計画に基づき論文作成指導を行う。また提出された論文テーマに沿い、中間発表会・研究会・大学院研修会に向けて指導を行う。 上記発表では出席教員が学生の発表に対して助言を与える。</p>
	5月下旬	修士論文テーマ提出	
	7月中旬	大学院研修会 (論文中間発表)	
	1月下旬	修士論文提出	主査（指導教員）、副査（原則2名）からなる審査委員会を設置し、学位論文審査を行う。
	2月中旬	学位論文審査	
	2月中旬	修了判定	審査委員会による審査結果を基に、研究科委員会は学位授与の可否を決定する。
	2月下旬	修了生発表	